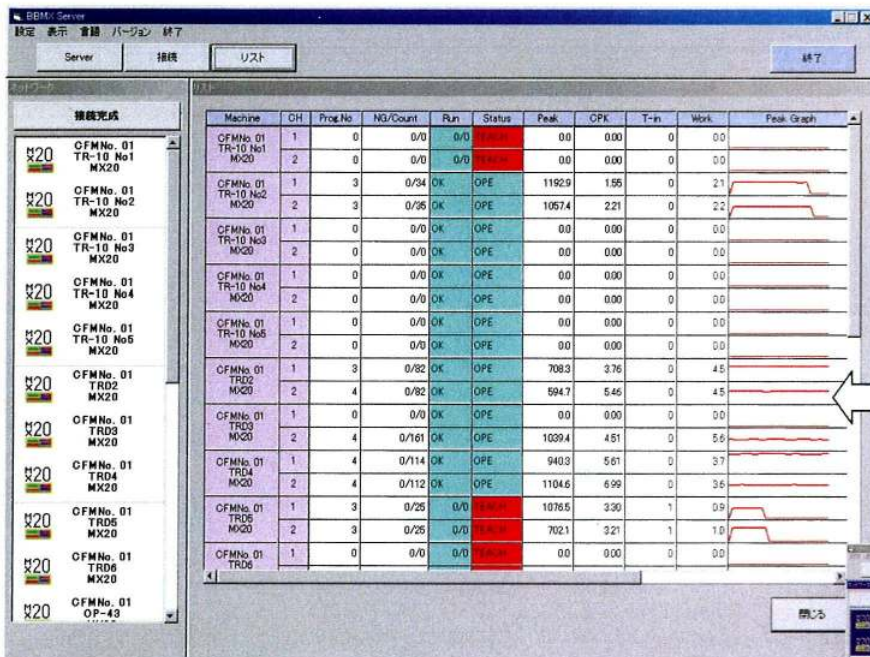


# CFM ネットワークシステム

最大 32 台の CFM-MX をLANで接続。1台のPCで品質・生産情報を集中管理



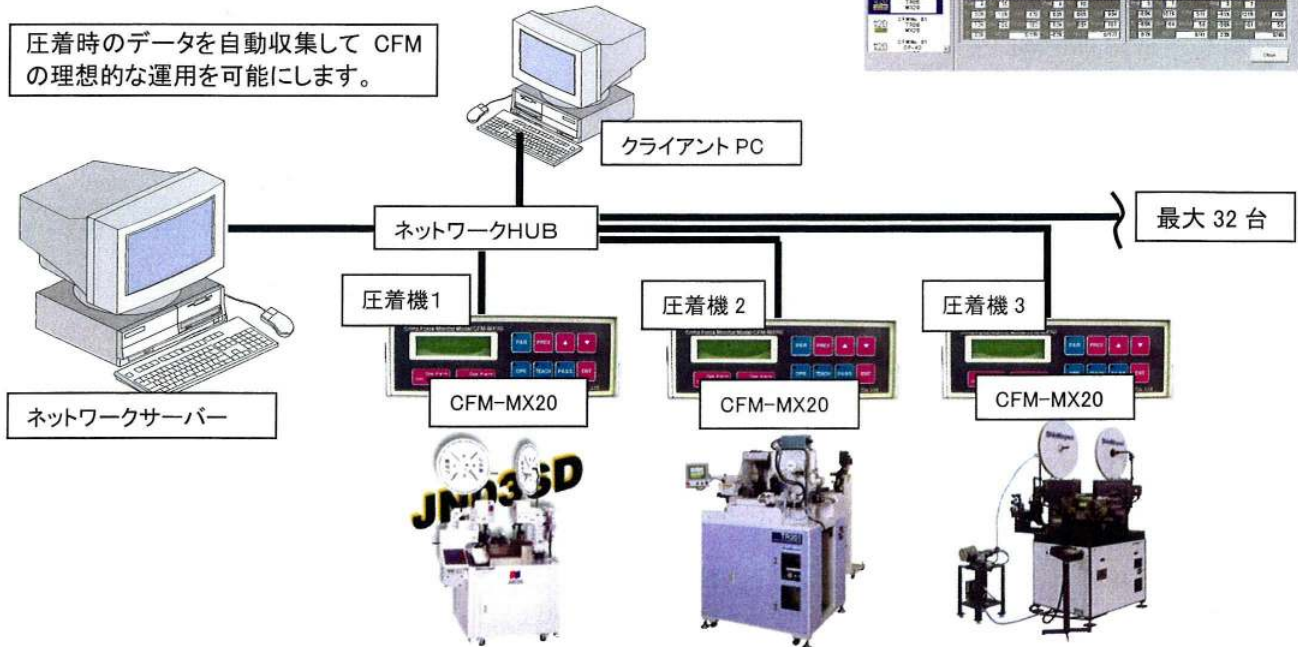
**MXブロードバンド**  
CFM-MX にLANアダプタを追加する事で、自動圧着機のメーカー、新型・旧型を問わず、MXを装備したマシンの稼働状況、稼働率、品質の安定度(CPK)、不良データの保存などが可能。

各CFMのステータス・CPK・カウント数・稼働率などが一画面にリアルタイムに表示されます。



## <基本データ収集システム>

圧着時のデータを自動収集して CFM の理想的な運用を可能にします。



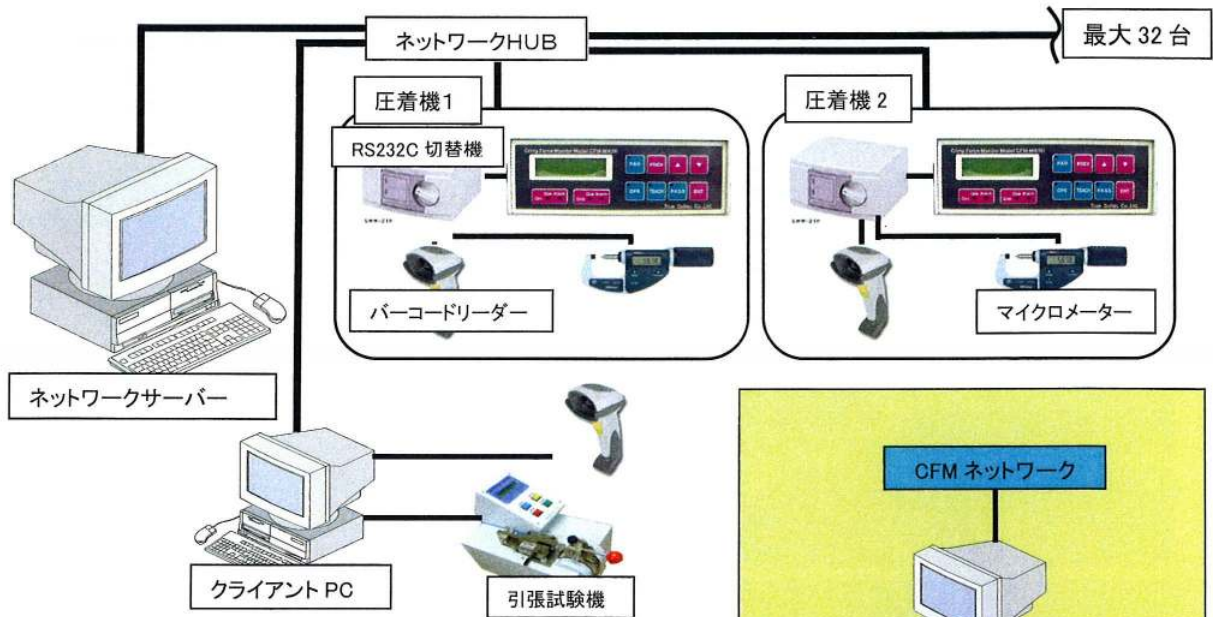
### サーバーに収集されるデータ

- ① 圧着機毎 CFM-MX のティーチング毎の波形データ
- ② ティーチング後10本までの良品データ(波形あり)。
- ③ CFM 不良検出時の全データ(波形あり)。
- ④ 圧着機毎の全生産データ(波形なし)。

ネットワークサーバーを通して各 CFM のリアルタイムモニター、及びサーバーに保存されたファイルから生産履歴、波形表示ができます。

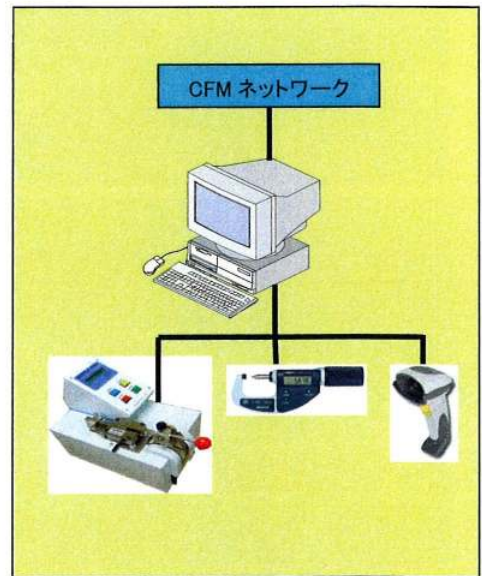
<データ収集/品質管理システム>

CFM の圧着データと共にクリンプハイト、破断引張試験結果をアイテム毎に保存します。測定値を製品規格と照合して品質管理システムを構築できます。



サーバーに収集されるデータ

- ① アイテム名(バーコード読み込み)
- ② クリンプハイト(ワイヤー/インシュレーション)データ。(製品規格と照合されます)。
- ③ 引張試験データ。(製品規格と照合されます)。
- ④ 圧着機毎 CFM-MX のティーチング毎の波形データ。
- ⑤ ティーチング後10本までの良品データ(波形あり)。
- ⑥ CFM 不良検出時の全データ(波形あり)。
- ⑦ 圧着機毎の全生産データ(波形なし)。



<作業の流れ>

